



球磨川治水

「地元の声聞き対応」

首相 流水型ダムに初言及



参院予算委で、川辺川への流水型ダム建設について初めて言及する菅義偉首相(左) = 8日午前

菅義偉首相は8日の参院予算委員会で、昨年7月の豪雨で氾濫した球磨川流域の治水対策として、県が国に、支流の川辺川への建設を求めている流水型ダムについて、「地元の方々の声をよく聞いた上で、しっかりと対応したい」と述べた。自民党の足立敏之氏（比例代表）への答弁。菅首相が、流水型ダムについて言及するのは初めて。

足立氏は「首相が提唱する事前放流できる流水ダムが球磨川にはほぼない。ダム建設が不可欠だ」と主張。菅首相は「課題となっていた川辺川のダムについて（蒲島郁夫）知事からも要望があった」と応じたが、建設スケジュールなど中身には触れなかった。国土交通省は流水型ダムについて、今年1月に公表した球磨川の緊急治水対策プロジェクトに盛り込んだ。予算委で赤羽一嘉国交相は「プロジェクトを速やかに実行に移したい」と強調した。

（嶋田昇平）